

「12月の新刊紹介」

◆ 文学・小説 ◆

No Image...

彬子女王 『京都ものがたりの道—Kyoto Looking for Time Capsules on the streets』

「京都」という街は、「道」から成る。日本美術研究者として活動する三笠宮家の彬子女王殿下が、京都の通り界限にまつわる逸話から、神社仏閣の歴史、街歩きでの目のつけどころや楽しみどころ、京都人の気質までを生活者の視点から紹介する、知られざる京都の魅力が詰まった必携の一冊。京のまち歩きに役立つ「ちょっと寄り道」や地図を掲載。

No Image...

原田 ひ香 『母親からの小包みはなぜこんなにダサイのか』

野菜、お米、緩衝材代わりに肌着や靴下、ご当地のお菓子など。昭和・平成・令和—時代が変わっても、実家から送られてくる小包みの中身は変わらない！？業者から買った野菜を「実家から」と偽る女性、父が毎年受け取っていた小包みの謎、そして母から届いた最後の荷物。家族から届く様々な《想い》を是非、開封してください。